

最新版 日本語教材

日本

(第二版)

この一冊で日本が分かる！

(日) 大森和夫 大森弘子 著

日本・国際交流研究所 発行

外语教学与研究出版社

013067348

最新版 日本語教材

H369.4
194

日本

(第二版)

この一冊で日本が分かる！

(日) 大森和夫 大森弘子 著

日本・国際交流研究所 発行



外语教学与研究出版社

H369.4

194



北航

C1674948

京权图字：01-2013-5671

(日)大森和夫, (日)大森弘子

图书在版编目(CIP)数据

日本：日文／(日)大森和夫, (日)大森弘子著. — 2版. —
北京：外语教学与研究出版社, 2013.8
ISBN 978-7-5135-3490-1

I. ①日… II. ①大… ②大… III. ①日本—概况—日文
IV. ①K931.3
中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2013) 第 184622 号

出版人 蔡剑峰
项目策划 薛 豹
责任编辑 田秀娟
装帧设计 平 原
出版发行 外语教学与研究出版社
社 址 北京市西三环北路 19 号 (100089)
网 址 <http://www.fltrp.com>
印 刷 紫恒印装有限公司
开 本 650×980 1/16
印 张 16
版 次 2013 年 8 月第 2 版 2013 年 8 月第 1 次印刷
书 号 ISBN 978-7-5135-3490-1
定 价 35.00 元

购书咨询: (010)88819929 电子邮箱: club@fltrp.com
如有印刷、装订质量问题, 请与出版社联系
联系电话: (010)61207896 电子邮箱: zhijian@fltrp.com
制售盗版必究 举报查实奖励
版权保护办公室举报电话: (010)88817519
物料号: 234900001



まえがき

「日本」という国は、2011年3月11日に起きた東日本大震災と東京電力・福島第一原発事故によって大きな試練を受けました。

人々の生活に大きな影響を及ぼし、社会も経済も混乱し、変貌しました。

しかし、「がんばろう！日本」を合言葉に、立ち直りつつあります。

大震災からの復旧・復興と「経済再生」を担う日本の政治は2012年12月、3年3カ月続いた民主党政権が崩壊し、自民党政権に代わりました。

外国語を学ぶ目的は、外国の言葉を読んだり、文章を書いたり、話をしたりすることだけではありません。「言語」を通して、その国の「社会」の姿や「文化」の形、「人の考え方・心情」などを理解することで、友好の絆が深まります。

海外の日本語学習者にとって大切なのは、「語学訓練」に偏らないで、日本語を通して「文化理解」を深めることです。

本書は、今の「日本と日本人」を理解するための「日本語教材」です。

皆さんが本書で日本語を学びながら、日本の多くの分野の知識を豊かにして、日本を少しでも好きになってもらえれば幸いです。

2013年7月
国際交流研究所
(大森 和夫・弘子)



りゃく れ き

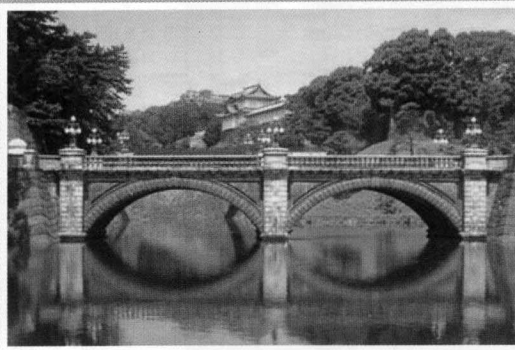
著者の略歴

- ☆ 大森和夫 1940 年生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。
朝日新聞記者（大分支局、山口支局、福岡総局、政治部、編集委員）を経て、
1989 年に国際交流研究所を設立。
- ☆ 大森弘子 1940 年生まれ。京都女子短期大学家政学部卒。
各種『日本語教材』の編集長
- ◎ 出版物 《中国の大学生、院生『日本語作文コンクール』の各回の「作文集」、
《日中友好に関するアンケート集『中国の 12,967 人に聞きました。』》、《も
う日本を恨まない＝夫婦の『日本語交流』十九年間の足跡》、《日本語教材【日
本】（上、下）》など。
- ※ 国際交流研究所 136-0076 日本・東京都江東区南砂 6－7－36－709
E-Mail = khomori8@u01.gate01.com
U R L = <http://nihongokouryu.web.fc2.com/>
- 題字【日本】・カット 大森弘子

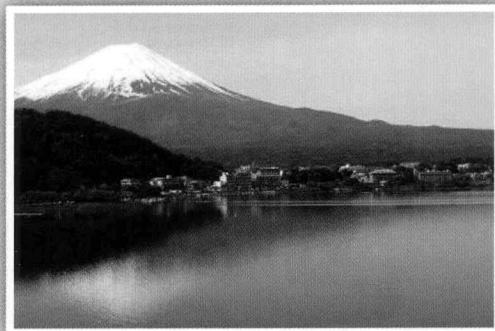
写真で見る【日本】という国



①国会議事堂



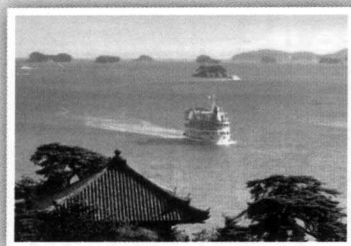
②^{こうきよ}皇居・^{にじゅうばし}二重橋



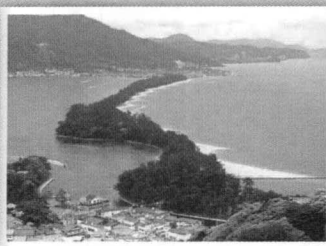
③富士山と河口湖



④金閣寺



⑤^{まつしま}松島 (宮城県)

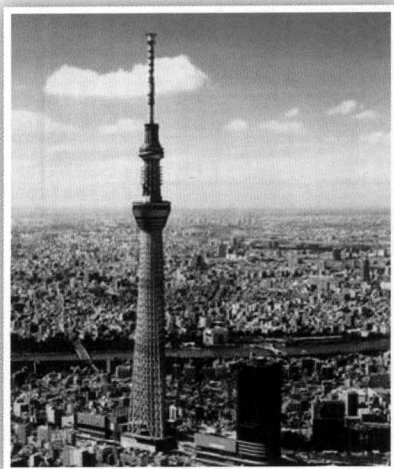


⑥^{あまのはしだて}天橋立 (京都府)

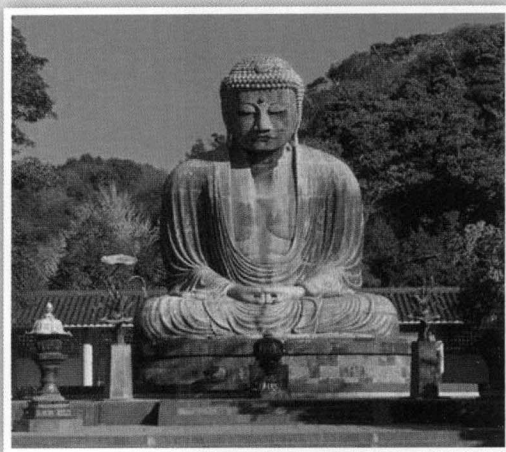


⑦^{みやじま}宮島 (^{いつくしまじんじや}厳島神社・広島県)

———【日本三景】———



⑧東京スカイツリー（墨田区）



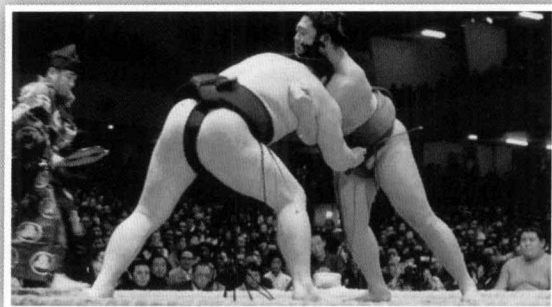
⑨鎌倉の大仏



⑩茶道の道具



⑪歌舞伎



⑫大相撲



⑬百人一首（かるた）



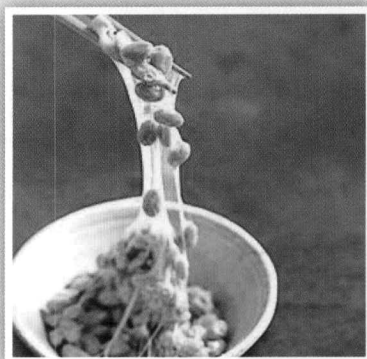
⑭京の舞妓



⑮羽子板



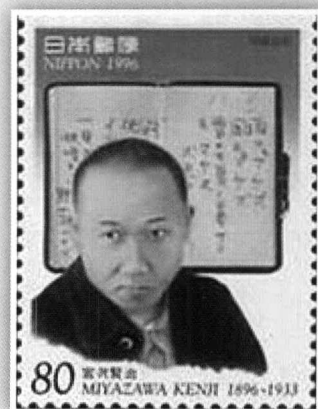
⑯握り鮓



⑰納豆



⑱夏目漱石



⑲宮沢賢治

〈夏目漱石、宮沢賢治は「切手」＝郵模 1585 号〉

2011 年 3 月 11 日・東日本大震災 (朝日新聞の紙面から)



②地震発生 (3月12日付朝刊)



②1宮城県気仙沼市 (3月12日付夕刊)



②2宮城県気仙沼市 (3月13日付朝刊)



②3宮城県南三陸町 (3月15日朝刊)



②4原発で爆発 (3月13日付朝刊)



②5放射能飛散 (3月15日付夕刊)



目次

第一章	ひがし に ほん だい しん さい ご 東日本大震災後の日本	1
一節	あゆ 政治の課題と歩み	3
二節	すい い 日本経済の推移	17
三節	しょう し こう れい 「少子高齢」社会	23
四節	へん せん 教育の変遷	29
五節	おお じ しん おお つ なみ げん ぱつ じ こ 大地震・大津波と原発事故	39
六節	ふつ きゅう ふつ こう みち 復旧・復興への道	44
第二章	くに かたち し く 国の形と仕組み	51
一節	こく ども 国土と人口	51
二節	さん けん ぶん り つ 三権分立	54
三節	に ほん こく けん ぽう 日本国憲法	62
四節	げん ごう ねん ごう 元号(年号)	66
第三章	れき し 歴史	69
一節	げん し こ だい 原始・古代	69
二節	ちゅう せい 中世	76
三節	きん せい 近世	79
四節	きん だい げん だい 近代と現代	84
第四章	し ぜん 自然	93
	し き き こ ねん ちゅう ぎょう じ 四季=季語と年中行事	93
一節	春	94

二節	夏	107
三節	秋	118
四節	冬	127

五章 伝統文化 143

一節	芸術	143
一	華道 (生け花)	143
二	茶道 (茶の湯)	149
二節	芸能	153
一	歌舞伎	153
二	能と狂言	157
三節	スポーツ	160
一	相撲	160
二	柔道	166
三	空手	168
四	剣道	169

六章 日本語 171

一節	文字の歴史	171
二節	「話し言葉」と「書き言葉」	175
三節	敬語	178
四節	『広辞苑』の「新語」から	182

七章 文学 185

一節	古典	185
一	源氏物語	185
二	万葉集	190
三	枕草子	194
四	百人一首	199

二節	きんだい しようせつ 近代の小説	204
一	なつめ そうせき 夏目 漱石	204
二	もり おうがい 森 鷗外	207
三	しまぎき とうそん 島崎 藤村	209
四	むらかみ はる き 村上 春樹	211
三節	はいく し たん か 俳句、詩、短歌	214
一	まつ お ばしやう はいじん 松尾 芭蕉 (俳人)	214
二	みやざわ けん じ し じん どう わ ざっ か 宮沢 賢治 (詩人、童話作家)	220
三	いしかわ たくぼく か じん 石川 啄木 (歌人)	222
四節	むかしばなし 昔話	225
一	つる おんがえ 鶴の恩返し	225
二	もも た ろう 桃太郎	227
三	いっすんぼう し 一寸法師	229

八章 こうどうようしき 日本人の行動様式 233

一節	のうこうせいかつ 農耕生活と文化	233
二節	しゅうだん しこう 集団志向	236
三節	じょれつ 序列社会	237
四節	わ 和の精神	238
五節	しんこうしん しゅうぎよう 信仰心と宗教	239

九章 わ しょく 和食 245

一節	すし すし すし すし (寿司・鮓)	246
二節	てん てん ぶ ら 天ぷら (天麩羅)	248
三節	や すき焼き	249
四節	なべりよう り 鍋料理	249
五節	なつとう 納豆	251

あとがき 252

一章



ひがしにほんだいいしんさいごにほん 東日本大震災後の日本

東日本大震災は、日本の政治、経済、社会に様々な難題を突きつけた。

2011年（平成23年）3月11日午後2時46分、1,000年に一度といわれる東北沖を震源とする大地震が起これ、東北など一道一都十県を襲った。大地震と大津波、そして、大津波による東京電力・福島第一原子力発電所の原発事故は、主に、岩手、宮城、福島の3県に未曾有の凄惨な被害をもたらした。

39万戸を超える建物が全半壊し、数十万人が生活と仕事の基盤を失い、放射能の不安にさらされ、被災地から逃れた。死者は2年後に1万5,880人に達した。復旧、復興の力強い歩みによって、被災地は明るさを取り戻しつつあるが、2013年3月時点で、約32万人の被災者が仮設住宅など自宅以外で避難生活を送っている。そして、2,694人の行方が分からないまま。

特に、原発事故が福島県に想像を超える被害をもたらした。多くの被災者が生活と仕事の場を奪われ、放射能の恐怖に打ちのめされた。2012年2月の時点で、福島第一原発から半径20キロ圏内の福島県双葉町、大熊町、富岡町の町民約3万4千人全員



が町外に避難した。放射性物質を取り除くため建物や道路を洗浄する「除染」が行なわれているが、2013年3月現在、約16万人の福島県民が自宅以外に避難（うち6万人超が県外避難）したままだ。すべての被災者がふるさとに帰り、被災地に元の明るさが戻るまでには長い年月が必要だ。

大震災は放射能の恐怖という大きな爪痕を残したが、日本全体が「がんばろう！日本」を合言葉に、「絆」と「我慢強さ」で復興へ力強い歩みを続けた。

.....

天皇陛下は2013年の年頭に、東日本大震災に関して、「さえ合って困難克服を」と、次のようなお言葉を発表された。

「東日本大震災から二度目の冬が巡ってきました。放射能汚染によりかつて住んでいた地域に戻れない人々や、仮設住宅で厳しい冬を過ごすざるを得ない人々など、年頭に当たって、被災者のことが、改めて深く案じられます。今後、震災や津波による被害の経験を十分にいかした防災教育やまちづくりが行われ、人々の安全な生活が確保される方向に向かうよう願っています。日本は、現在厳しい状況に置かれていますが、皆が被災者に心を寄せつつ、互いに支え合って様々な困難を克服していくよう期待しています」

.....

2012年12月の総選挙で自民党が圧勝し、3年3カ月続いた民主党政権に代わって安倍晋三内閣（自民党と公明党の「自公連立政権」）が誕生した。日本は、「東日本大震災と原発事故からの復旧・復興」という課題を抱えながら、「デフレ脱却」と新たな成長戦略による「経済再生」の実現が急がれている。

（「東日本大震災・原発事故と復旧・復興」は五節と六節）

一節

政治の課題と歩み

日本の政治の緊急課題は、何と言っても、「経済再生」だ。

安倍首相は、就任後の所信表明演説で「わが国にとって最大かつ喫緊の課題は経済の再生だ」と述べた。「大胆な金融緩和・機動的な財政出動・民間投資を喚起する成長戦略」という「三本の矢」で経済再生を図る安倍内閣の経済政策を「アベノミクス」と呼ぶ。経済再生を実現するための2013年（平成25年）度政府予算（一般会計の当初予算）は、92兆6千億円で過去最大の規模となった。

❁ 「民主党政権」から「自民党政権」へ

2012年12月の総選挙（衆議院議員選挙）で、野党の自民党が大勝し、政治状況が一変した。12月26日の特別国会で、自民党の安倍晋三総裁（58）が第96代首相に選出された。安倍氏は2006年9月から約9カ月、第90代首相を務めており、5年ぶりの再登板。同日、3年3カ月続いた民主党政権に代わって、自民党と公明党の「自公連立」の「第2次安倍内閣」が発足した。

2009年8月の総選挙で、当時野党だった民主党が「変革」を訴えて圧勝して政権を握った。選挙による初の政権交代で、1955年以降の一時期を除いて続いた自民党政権が終焉したが、民主党政権は国民の期待に応えることが出来ず、3年3カ月で幕を閉じた。

「民主党政権」は、民主党・社民党・国民新党3党による「連立内閣」としてスタートしたが、民主党の党内抗争や首相の指導力不足のため、首相は、鳩山由紀夫氏から菅直人氏に、そして野田佳彦氏に代わった。鳩山氏は母親から贈与された多額の資



金を他人名義の献金に偽装した「虚偽献金」問題などが批判され、菅氏は超巨大地震と原発事故への対応が遅れたことで支持を失い、野田氏は大量の離党者を出すなど党内をまとめきれず、それぞれ「首相の座」を退いた。日本の首相は、アメリカの新聞が「回転ドア首相」と皮肉ったように、安倍氏が最初に就任した2006年9月以降、約8カ月～約1年3カ月の短命に終わっている。首相がリーダーシップを発揮できなかったことが最大の理由だ。

2012年12月16日の第46回衆院総選挙（定数480議席）で、自民党が単独過半数（241議席）を大幅に上回る294議席を獲得した。「連立」を組んだ公明党の31議席と合わせた議席は「325議席」となり、参院で否決された法案を衆院で再可決できる「3分の2（320議席）以上」を確保した。

一方、与党だった民主党は大量の離党者を出した上に、「マニフェスト（政権公約）」を実現出来なかったため、国民の信頼を失い、公示前の議席（230議席）から4分の1（57議席）に激減した。「中学生までのすべての子どもに1人当月額2万6千円の子ども手当」の公約が「3歳から中学生まで、月額1万円」に終わるなど、財源の裏付けがないため、「公約違反」が続出した。

総選挙で、大阪府知事だった橋下徹氏（大阪市長）が中心になって作った「大阪維新の会」を母体に政界の「第三極」として登場した「日本維新の会」（代表・石原慎太郎前東京都知事、橋下大阪市長）は、総選挙で「54議席」を獲得し、民主党について野党第二党になった。「みんなの党」は議席を増やし、18議席になった。

2013年7月に参議院議員選挙（定数242人の半数改選）が行なわれ、自民党が総選挙に続いて大勝した。衆院・参院ともに、自民党と公明党の議席が過半数を占めた。この結果、参院で野党が多数を占めていた「ねじれ現象」は解消され、「自公連立政権」の安定度が増した。総選挙で惨敗した後、元経済産業相・海江田万里氏（63）を新しい党代表に選んだ民主党や「日本維新の会」、「みんなの党」などの「第三極」が支持をどれだけ広げられるか、が今後の政局を左右する。

なお、2012年の総選挙は、全国300選挙区で1人ずつ選ぶ小選挙区（300議席）と、11ブロックに分けて政党で争う比例区（180議席）を組み合わせた「小選挙区比例代表並立制」で行なわれた。小選挙区の投票率は戦後最低の「59.32%」。

❁ 「第2次安倍内閣」の誕生

5年ぶりの再登板となった安倍首相は、第2次安倍内閣を「危機突破内閣」と名付け、全閣僚（18人）に「経済再生、東日本大震災からの復興、危機管理の三つに全力で取り組むよう」指示し、「デフレ脱却」による「経済再生」を最優先課題に掲げた。

《デフレ（デフレーション）＝物価の下落、失業者の増大や企業の倒産などによる不況》。

首相経験者の麻生太郎氏（72）に副総理・財務相・金融相を兼務させ、財政と金融の両面から「デフレ脱却と円高対策」の担当とした。また、甘利明氏（63）を経済財政政策の司令塔として経済再生相に任命し、新設した「日本経済再生本部」（全閣僚がメンバー）の担当相とした。

ほかに、総務相が「地方分権改革」、環境相が「原子力防災」、沖縄・北方担当相が「海洋・領土」、経済産業相が「社会保障・税の一体改革」、国家公安委員長が「国土強靱」、「防災」、少子化・消費担当相が「男女共同参画」などを担当。

日本が抱える課題は多い。安倍首相は、「デフレ脱却が政権の使命」と強調したが、「東日本大震災」からの復旧・復興もまだ道半ばだ。

政策課題

安倍内閣が抱える課題は、「金融緩和・財政出動・成長戦略」による経済再生だけではない。借金が1千兆円に及ぶ国の「財政健全化」、東日本大震災と原発事故からの復旧・復興のスピードアップ、社会保障と税の一体化、「脱原発」と新しいエ